

青春の躍動

発行 鳥取県高等学校体育連盟
TEL 0855-2263842
FAX 0855-2263692
印刷 編集 印刷 刷字 刷字 刷字 刷字 刷字 刷字
印刷 刷字 刷字 刷字 刷字 刷字
印刷 刷字 刷字 刷字 刷字 刷字

「全国総体・定時制通信制大会を終えて」



会長 津森 啓次
鳥取県高等学校体育連盟

今年夏のインターハイは「翔べ、誰よりも高く、東海空へ」をスローガンに、三重愛知・岐阜・静岡の東海四県和歌山県で開催されました。大会中は、気温四十度を超えるような厳しい暑さが続きましたが、地元の高中生や先生方、地域の皆様のおかげで、無事終了しました。心から感謝申し上げます。

東海総体・定時制通信制大会 ～栄えある全国入賞～



本大会に鳥取県からは二十九競技に総勢五〇名の選手団を派遣しました。選手らは、各競技で持っている力を存分に発揮して熱戦を展開し、最終的には七競技において昨年と同数の十二の入賞を獲得しました。中でも、陸上男子走幅跳の永岡 一郎選手（出雲）は、一位の選手と同記録となり、「二番目の記録を下り惜しくも優勝を逃しましたが、まさしく優勝に匹敵する素晴らしい結果でした。そして、レスリング男子六十級級で優勝となった中村 勇士選手（隠岐島前）も頂点には及びませんが、春の全国選抜の王者らしい姿となりました。戦いぶりを見せてくれました。



また、全国定時制通信制大会が七月二十六日から東京を中心に開催され、本県からは七競技四十五名の選手団を派遣し、二競技三種目に入賞を果たしました。とりわけ、陸上の高橋 椿太郎選手（宍道）の「一〇〇Mと三〇〇M」の二種目制覇は賞賛に値するものであり、本県選手の定時制大会での優勝は十五年ぶりの快挙でありました。



改めて、両大会にエントリーしたすべての選手へのこれまでの努力と大会での活躍に敬意を表するとともに、入賞された個人・団体の皆さんに対して心からお祝い申し上げます。一方、今年悔しい思いをして、虎視眈々と来夏の全国の大舞台を目指す皆さん、目標を高く掲げ、仲間と切磋琢磨しながら、大いなる成長を遂げてくださいことを期待しています。

一五〇〇m三〇〇〇mssc 優勝を経験して



陸上競技部 高橋 椿太郎
道尾高校

僕は去年六月に脳の病気が見つかりドクターストップを受け、歩くことができなくなりました。僕にとって陸上とは、すべてであり大切なものだった。走れない苦しさ、何もできない苦しさ、九月に手術を受けた。手術後の血で、一週間昏睡状態になり、生死をさまよいつつ手術を受けた。目覚めた。言葉は話せず、視野の多くが欠けていた。身長は一八〇cm、体重は三十八kgで落ち、車椅子からのハビリが始まった。体力が言語を戻すとは簡単に思っていたが、そんな時に助けてくれた仲間がいた。恩師だった。家族がいた。「よく頑張った」「偉いね」と言ってくれた。言葉とどけられたのか。感謝しかない。一度走ろうと決めた。助けてくれたみんなに恩返ししたい。後遺症でハンディは多く苦戦したが、その分努力した。結果、全国という大舞台ですべてを出し切り二冠を達成することができた。勝ったと思っても瞬間今までの辛い経験、みんなの励み、この思い出は自分だけの力ではなく、皆に助けられた感謝だった。陸上人生の中で一番辛さを感じたレースだった。「これからは陸上を止し、走り続けます。」



陸上競技部 永岡 一郎選手

私はインターハイを終えてチームメイトの大切さと自分の弱さを改めて感じる事ができました。チームメイトには、何事も練習や合宿、大会で助けられ感謝されました。今までの汗を流し、うれしかったことは喜び、悔しいことは悲しみと一緒に活動してきたからこそ今回の結果があり、団員全員で勝ち取った準備期間があったと思います。しかし、決勝戦はとても悔しい思いをしました。決勝戦は、部員と共に練習してきた技を出し切ることができず敗退してしまつたからです。その敗退を糧に九月末に行われた国民体の国民体で育大会は、自分の強みを全て出し切り応援していただいた地域の皆さん、家族、指導者、指導者に勝利を届け恩返ししたいと思います。



三重県営サンアリーナ 総合開会式



三重県営サンアリーナ 総合開会式



三重県営サンアリーナ 総合開会式



三重県営サンアリーナ 総合開会式

2018 彩る感動 東海総体

陸上競技

三重大交通Gスポーツの社 伊勢陸上競技場

総合開会式

三重大県営サンアリーナ

ソフトテニス男子

三重大交通Gスポーツの社 鈴鹿庭球場

ソフトテニス女子

三重大交通Gスポーツの社 鈴鹿庭球場

バレーボール女子

三重大 サオリーナ

サッカー男子

伊勢フットボールクラブ

ボート競技

愛知県 愛知池漕艇場

剣道

三重大県営サンアリーナ

レスリング

三重大 メッセセンター

ホッケー女子

三重大 サオリーナ

柔道

川越 川越ホッケースタジアム

空手道

岐阜メモリアルセンター て愛ドーム

* [2018 彩る感動 東海総体] 入賞一覧

順位	成績	競技	種目	氏名	学校
1	2位	陸上競技	男子走幅跳	永岡 一郎	道尾高校
2	2位	レスリング	男子60kg級	中村 勇士	隠岐島前高校
3	3位	レスリング	男子55kg級	澤村 成	隠岐島前高校
4	3位	ホッケー	女子		横田高校
5	3位	ボート	女子シングルスカル	津田 海星	津守工業高校
6	3位	カヌー	男子カナダC1(7人)		出雲農林高校
7	3位	なぎなた	女子団体		出雲農林高校
8	5位	陸上競技	女子100mH	長崎 紗紗	大社高校
9	5位	ホッケー	男子		横田高校
10	5位	カヌー	男子カナダC1(7人)		出雲農林高校
11	6位	ボクシング	フライ級	立花 春斗	出雲工業高校
12	7位	カヌー	男子カナダC2(4人)		鳥取中央高校

* 全国高校定時制通信制大会 入賞一覧

順位	成績	競技	種目	氏名	学校
1	1位	陸上競技	男子1500m	高橋 椿太郎	道尾高校
2	1位	陸上競技	男子3000m	高橋 椿太郎	道尾高校
3	8位	柔道	男子60kg級	飯田 友博	出雲工業高校